



2016教育改革推進!!

# AL授業実践レポート Vol.1

4月25日(月) 7限/高2文系合同クラス/現代社会

単元：政治とは何か

目標：①「政治とは何か」を考えよう。②自分の住む街について考えよう。

〈授業展開〉

2分	<b>前回の復習</b>
3分	<b>本時の内容・目標・ルール確認</b>
10分	<b>政治とは何か考えさせる</b>
3分	①「政治とは〇〇である」の〇〇に入る語句を出す(個人ワーク)
2分	②①をグループで共有→おもしろいものを一つ選ぶ(グループワーク)
5分	全体共有
15分	<b>正しい施策の条件を考えさせる</b>
3分	①賛否と理由記述(個人ワーク)
3分	②グループ自由討議
5分	③個人指名で全体の意見を集約
15分	<b>富山について考える</b>
3分	①「いいところ」を列挙(個人ワーク)
2分	②①をグループで共有→おもしろいものを一つ選ぶ(グループワーク)
	③全体共有
4分	④「だめなところ」を列挙(個人ワーク)
2分	⑤④をグループで共有→おもしろいものを一つ選ぶ(グループワーク)
	⑥全体共有
5分	<b>まとめと振り返り</b> 本時の目標達成確認 「政治とは〇〇である」の暫定的答え

Point 1

確認テストはクイズでテンポよく!

概念提唱者名、青年期の心の働き等々、計10問程度を、画像を見ながら「つぶやく」形で振り返る。時間短縮に加え、視覚教材による記憶定着効果もはかれる。

Point 2

ブレインストーミングで「考える」準備体操

唯一の正解がない問いを投げかけ、質より量を重視。たくさん出すとおもしろいキーワードも出る。全体共有でそれを拾い上げる。

Point 3

わかりやすい具体例を考えることで抽象的な思考へ導く

生徒を思考させる「成功する発問」の良例。生徒の考える理由が、そのまま「正しい施策」の様々な条件になる。「正しい施策の条件は？」と問わずに、「この施策は正しい?正しくない?またその理由は？」という発問にしたのが功を奏し、素晴らしい意見がどんどん出た。

Point 4

楽しい活動が授業の最初の問いにつながる仕掛け

「富山の課題を見つけ、それを解決しようとするのが政治だ」というまとめで、「政治」が身近な人間の活動に感じられる。生徒たちの政治への関心がぐっと高まった瞬間。

〈安部先生に質問〉

Q 現代社会の授業のモットーは?

→A 「現代社会って身近な分野だ」と実感させること。

Q AL型授業は大学受験にどうつながる?

→A 現代社会で学ぶ内容に興味を持たせるきっかけ作り。講義(知識注入)とAL型を半々で行っています。

生徒たちが最も盛り上がったのは富山の「いいところ」「だめなところ」の列挙。生徒の疲労度も高く集中力も切れがちな7限という時間帯にも関わらず、時間を細かく区切ったテンポよい展開と生徒を飽きさせない発問の工夫がなされており、まさに「現代社会をもっと学びたい」仕掛けがたっぷりの授業でした。(森内)